令和7年度　飯塚市事務事業評価シート

令和　8　年　5　月　28　日　作成

事務事業名	飯塚市婦人会事業	事務事業No.	542 - 7

1．基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
教育部	生涯学習課	生涯学習係	主事補	山本　麻貴	課長	松村　浩史

施策体系				
総合計画	政　策	5	教育・文化
	施　策	4	生涯学習の振興
	基本事業	2	生涯学習指導者の育成
その他の計画	個別計画		—

根拠法令・条例・要綱等	社会教育法第11条・飯塚市教育施策要綱・飯塚市補助金交付規則・飯塚市社会教育関係団体補助金交付要綱・飯塚市社会教育関係団体の登録に関する要綱、飯塚市教育委員会事務局組織規則				
事業開始年度	平成18年度	事業終了年度	継続	事務事業類型	ソフト事業
実施手法	補助金・負担金交付	補助金等の支給	補助金等あり	実施計画期間	—

2．事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要		婦人会活動（教育、環境、福祉等）の推進を図るため社会教育関係団体補助金交付要綱により補助金を交付。地域活動を含む市全体での行事（福祉のつどい、サンクスフォーラム、エコスタ等）への参加や自主事業に対しての支援を行う。
対象	働きかける相手・もの	飯塚市婦人会
手段	方法・働きかけ（活動指標）	①補助金の交付　②活動に対する指導・助言　③活動場所の確保　④広報活動の支援
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	婦人会活動（教育、環境、福祉等）の推進を図る。

3．活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
会員数	人	会員数拡大の推進	70	52	55

4．成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	自主事業（健康講座）の開催数	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
		回	3	目標値	3	3	3
説明	婦人会として行う自主事業（健康講座）の開催数	方向性	達成目標年度	実　績	1	1	
		維持	毎年度				
指標	自主事業（コスモス食堂）の開催数	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
		回	11	目標値	11	11	11
説明	婦人会として行う自主事業（コスモス食堂）の開催数	方向性	達成目標年度	実　績	11	11	
		維持	毎年度				
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実　績			

5．事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	経常経費	特別会計	—
予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 5 社会教育費	目 1 社会教育総務費
	大 99 その他の社会教育総務費	中 14 飯塚市婦人会事業費		他 0 事業

	(R2以降)	前年度実績（千円）			本年度実績（千円）			増減理由（10%以上の場合）	次年度予算（千円）		
投入人員（当該事務事業に対して１年間に投入した人員）	正職員	0.14	人	1,141	0.12	人	1,019		0.09	人	765
	任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 2級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
人件費計（A）				1,141			1,019	-			765
事業費	直接事業費（B）			840			840				820
	総事業費（A＋B）			1,981			1,859				1,585
直接事業費のうちの主な歳出内訳	負担金補助及び交付金			840			840				820
	—			0			0				0
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）			0			0				0
	国・県支出金			0			0				0
	市債			0			0				0
	一般財源			1,981			1,859				1,585
	その他（　　）										

6．事務事業の事後評価★

評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性評価	やや高い	地域の中で婦人の地位向上に取り組みながら、環境、福祉、人権等の諸問題に取り組みを行っている団体を支援する必要がある。
効率性評価	やや低い	婦人の活動を支援する事業のため他に替わる事業はないものの、補助金額を含め、市及び職員の関与（支援）を減らす余地はあると考える。
有効性評価	やや高い	地域に根差した活動を行っているものの、事業によっては他団体が行っているものと類似するものもあり、事業内容について再考の余地があると考える。

7．前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	補助金額の削減に向け、団体と協議を行う。
一次評価	拡充		
	コストの方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	なし
	縮小		

前年度改善策に対する実績　★　　※上記の改善策に対して今年度に実施できたこと、などを記入

団体と協議を行い、補助金額を削減した。

8．今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★

【成果】 昨年度と比較し、柳川市への視察・会長以外の役員の全国研修会出席等、団体主体の活動が活発化している。
市のサポートについても昨年度より手薄にしたため、本来あるべき団体の姿に近づいている。

【課題】 以前まで職員2人でサポートしていたものを1人体制で行うようにしたり、団体主導の活動となるよう心掛けた。今後は協議の場を設け、職員のサポート減について定着化させる必要がある。

9.今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	【理由】
拡充	コスモス食堂は月1回（4月を除く）開催することができたものの、その他ではコロナ禍前ほどの活動はできていない。コスモス食堂以外の事業を再開し、コロナ禍前の水準に戻す必要がある。
コスト投入の方向性	【理由】
現状維持	事業内容を鑑み、若干補助金額の削減を行った。引き続き、適切な補助金額となるよう団体と都度協議を行う。

次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	健康講座について、近年実施できていないため、団体とあり方についての協議を行う。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	―

2次評価（最終評価）	成果の方向性	活動には市の他部門やまちづくり協議会と重なる部分が多く、会員の高齢化・減少も進んでいる。現段階の事業の方向性としては縮小とする。なお、交付要綱の見直しや類似事業との統合についての検討も進めておく必要があると考える。
	縮小	
	コスト投入の方向性	定額補助（84万円）については、設定根拠を確認する必要があると思料する。会員減少に伴い1人あたりの負担が増えていることから、この点も含めて検証する必要があると考える。なお、現段階のコスト投入の方向性としては、団体運営を一律に支える形から公益性の高い事業費補助へ切り替えることによる縮小とする。
	縮小	